

2009年度

科目名	生物学B		
担当教員	井上 美智子		
配当	教育1	コード	14060
開期	後期	講時	月曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	宇宙史・地球史・生命史のなかの人間		
目的と概要	地球に生命圏が存在するようになった前提とそれを支える環境とその現状・自分との関係について学びます。それを通し、今ここに生きていることについて各自が考え、自分なりの生命観・環境観を持つことが最終目標です。同時に、生命をめぐる領域では学問分野にこだわらない学際的な探求が進んでいること、現在の環境の問題点を考えるには生命をめぐる歴史的な視点が必要不可欠であること、自然科学は常に発展途上のものであること、自然科学で明らかになったことは私たちに新しい世界の見方を与えてくれることなどを知ってもらいたいと思います。		
成績評価法	授業中のミニレポートと期末試験(論述形式)		
テキスト	なし。		
参考書	授業で紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	<ul style="list-style-type: none"> ●自然科学領域の一般教養試験を授業開始時に行います。教員採用試験等を受験予定の人は、活用してください。 ●授業の中で塗り絵をしたり、グラフを作成したりします。色鉛筆等が必要な回があります。 		
講義計画			
第1回 進化とは何か？ 第2回 種の多様性 第3回 生態系 第4回 種の多様性が生まれるために必要なこと 第5回 つながり 第6回 環境とは何か？ 第7回 環境問題と何か 第8回 地球の気温を決めるものは 第9回 地球温暖化問題とは？ 第10回 地球温暖化をめぐる二つの立場 第11回 化学物質汚染問題とは？ 第12回 環境リスクと健康リスク 第13回 地球の現状 第14回 持続可能な社会の形成 第15回 後期のまとめ			